

## 3. 南西地域

### 1 地域の概況

南西地域は、南北を羽曳野市、近鉄南大阪線、東西を羽曳野市、(都) 柏原羽曳野線(国道170号(大阪外環状線))に囲まれている地域です。

藤井寺駅周辺には商業・業務施設等が集積しており、本市の都市拠点となっています。

地域内には、葛井寺や辛國神社など歴史のある寺社仏閣、仲哀天皇陵古墳、鉢塚古墳、仁賢天皇陵古墳など歴史文化資産が数多く点在しています。

花苑都市として整備された春日丘住宅地や藤ヶ丘住宅地など、ゆとりのある緑豊かな良好な住宅地が形成されていることも特徴です。

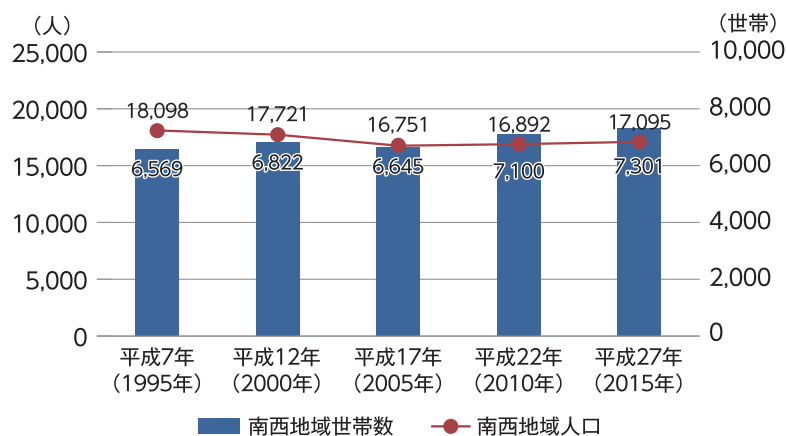
かつては藤井寺球場が整備され、広域からの集客がありましたが、閉場後は四天王寺学園小学校・中学校・高等学校となりました。また、四天王寺大学方面への通学の最寄り駅ともなっていることから、学生が多く行き交う地域でもあります。



### ①人口・世帯数の推移

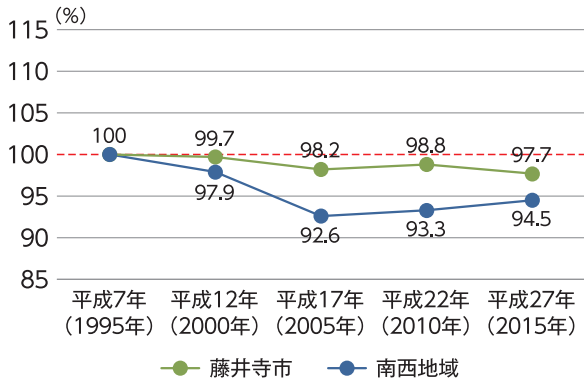
- 人口・世帯数ともに、平成7(1995)年～平成17(2005)年まで減少傾向でしたが、以降は増加傾向がうかがえます。
- 全市と比較すると、平成17(2005)年までの人口減少は顕著ですが、概して全市と同様の動態が見られます。
- 年齢別の人口構成については、全市に比べやや65歳以上の人口割合が高く、15歳未満の人口割合が低くなっています。

■ 人口・世帯数の推移



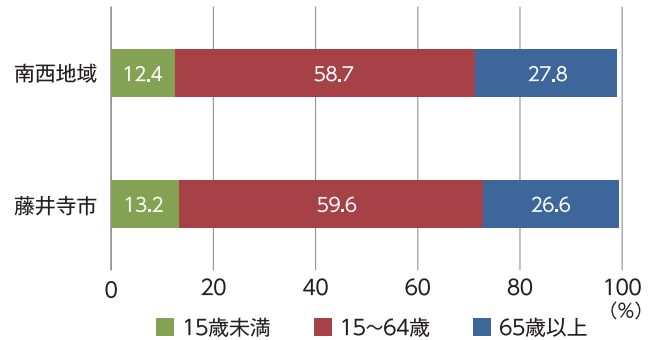
出典：国勢調査

## ■ 人口の推移 (全市との比較)



出典：国勢調査

## ■ 年齢別 人口構成 (平成27 (2015) 年)



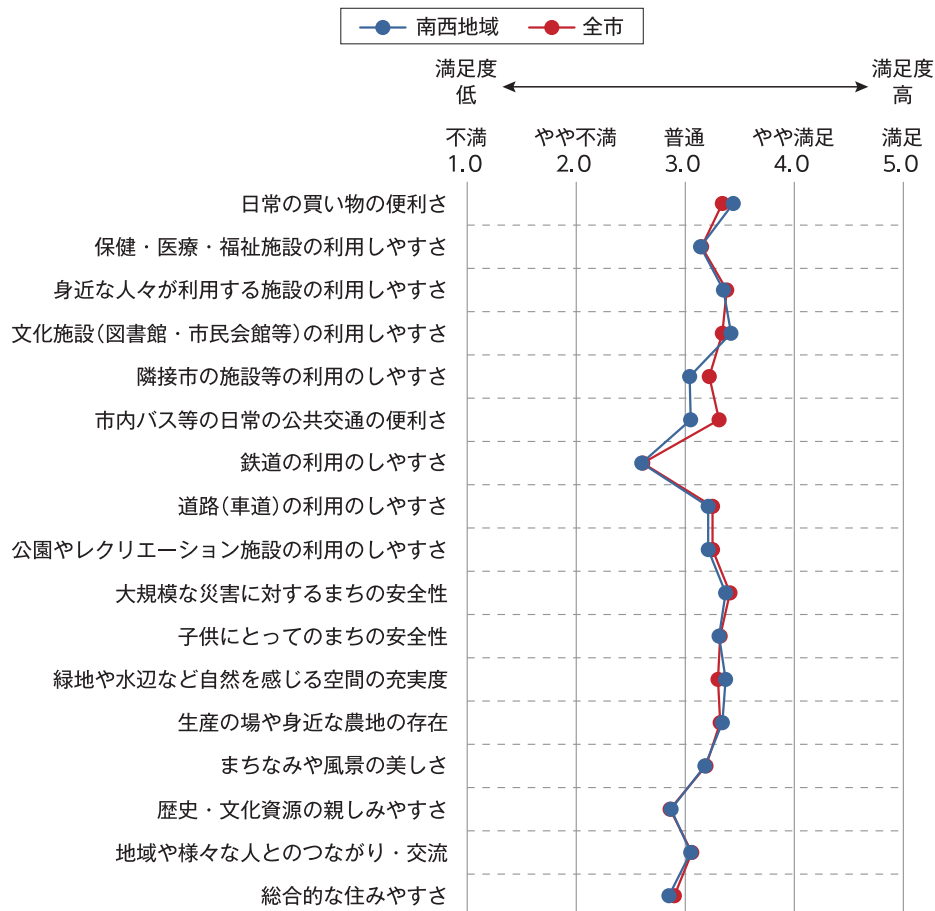
出典：国勢調査

注：年齢不詳を省いているため合計は100%にならない

## ② 市民アンケート調査の結果

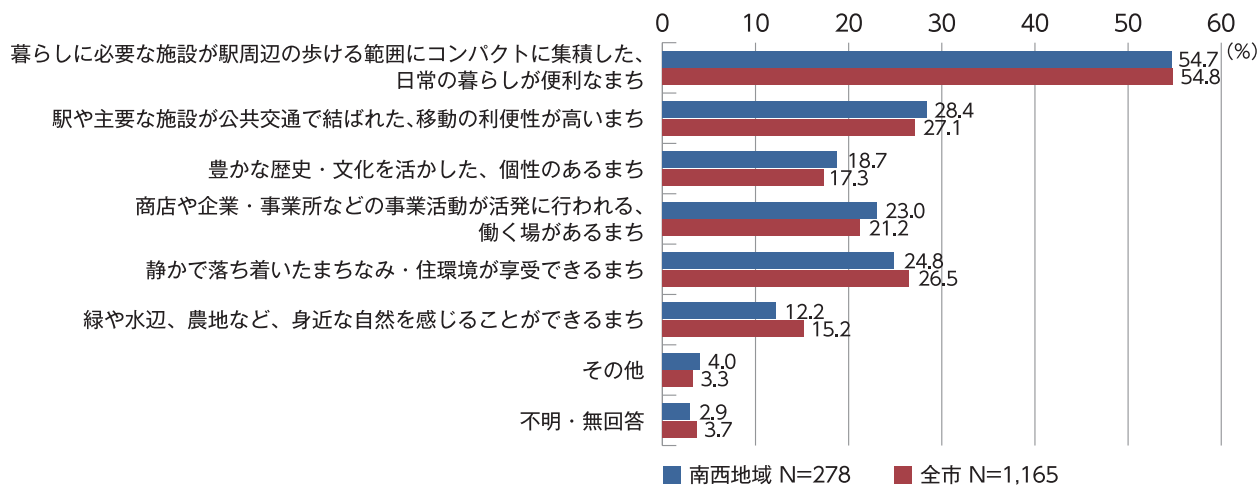
### ⑦ まちの暮らしの満足度

- ・南西地域では公共交通や隣接市の施設利用の満足度が他の地域より低いですが、日常の買い物についての満足度が高めです。



### ① 概ね10年後をイメージした将来の姿

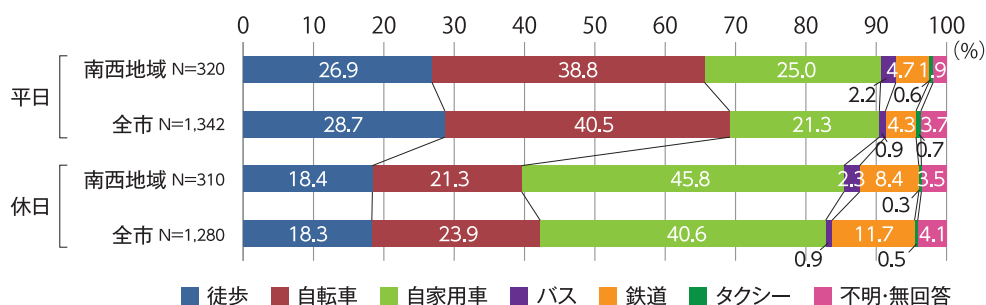
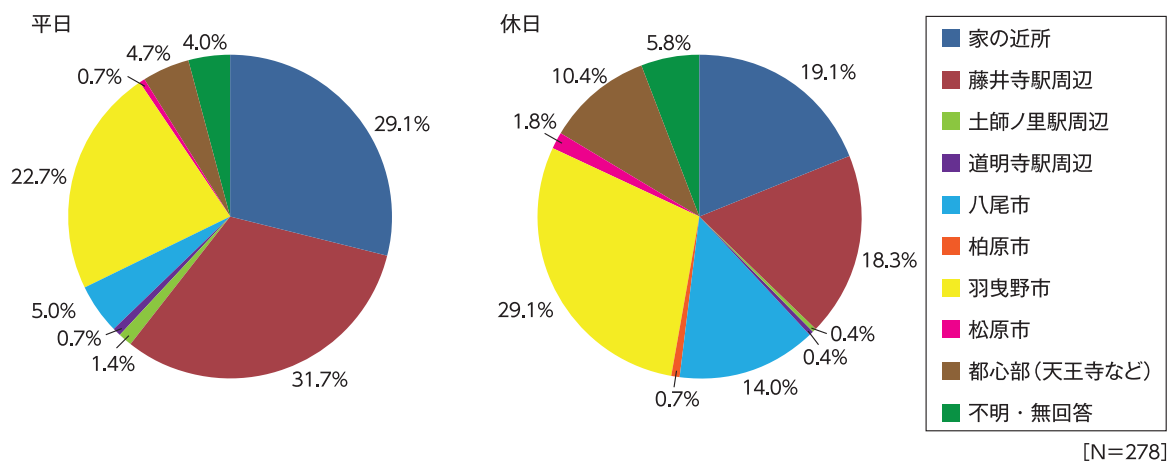
- 全市とほぼ同じ割合となっており、日常の利便性を挙げる人が多くなっています。



### ⑦ 地域でのふだんの暮らしの様子

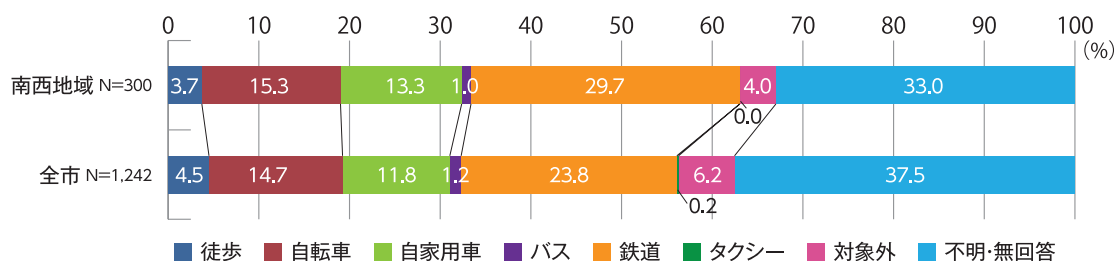
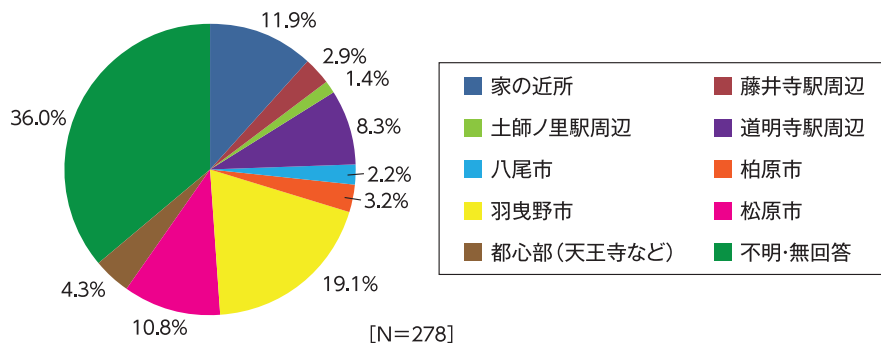
#### 【ウ-1：買い物の利用場所、交通手段】

- 平日・休日ともに徒歩・自転車・自家用車の利用が多く、他の地域と比べて平日の自家用車の利用(25.0%)が多く、羽曳野市への買い物が22.7%にのぼります。
- 休日の自家用車で移動は45.8%で、29.1%が羽曳野市で買い物をしています。



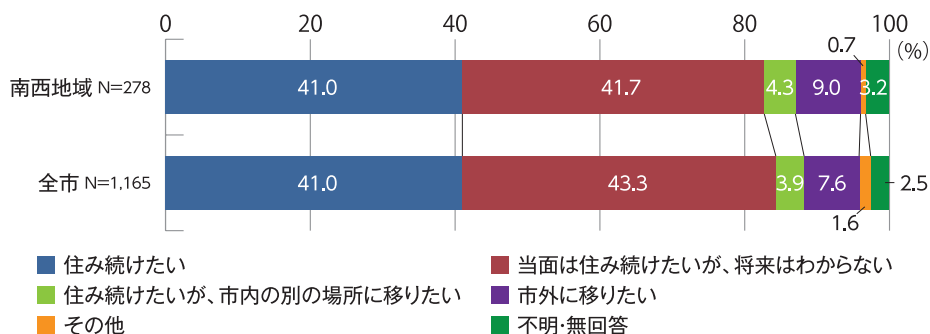
### 【ウ-2：通勤通学の場所、交通手段】

- 通勤通学の場所も買い物と同様に羽曳野市が最も多くなっており、19.1%を占めています。
- 交通手段としては鉄道が最も多く29.7%と全市の中でも最も大きい割合となっています。



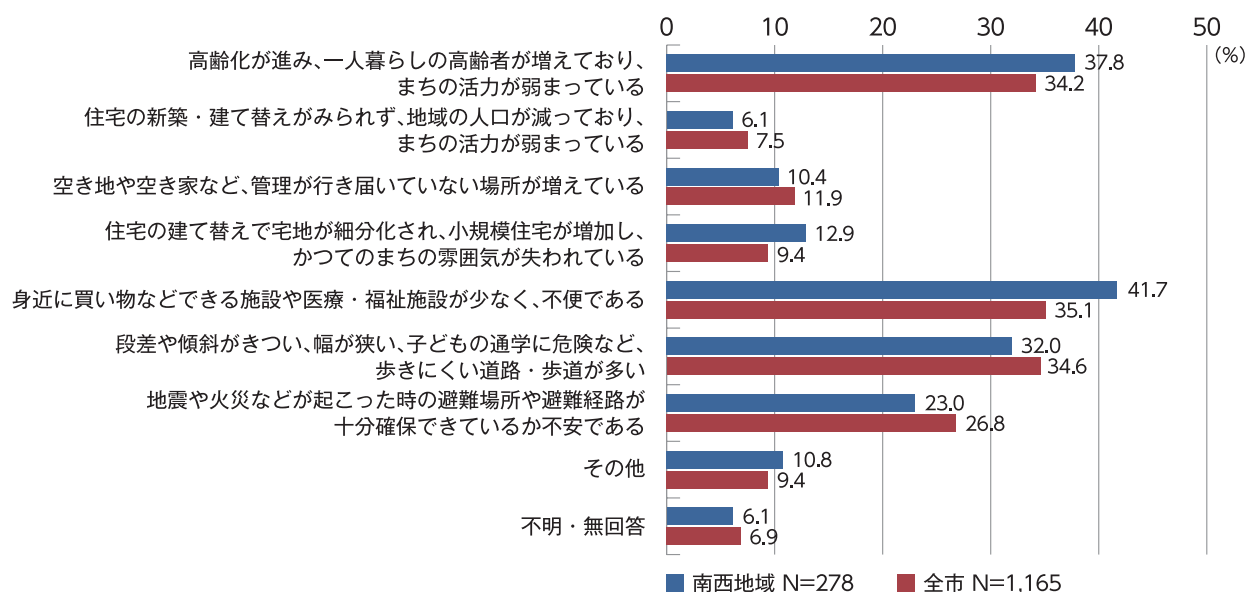
### 【ウ-3：地域の定住意向】

- 住み続けたいという人は41.0%で最も多いですが、市外に移りたいという人の割合が9.0%と全市と比較して最も大きくなっています。



### 【ウ-4：身近な住環境で生じている課題】

- 身近に買い物できる施設や医療・福祉施設が少ないことを挙げた人の割合が最も大きく(41.7%)、次いで高齢化、一人暮らしの高齢者の増加によるまちの活力の弱まり(37.8%)、段差や傾斜のきつさ、道路幅の狭さなどによる道路や歩道の歩きにくさ(32.0%)の順になっています。



#### 【ウ-5：まちづくりに活かしていきたい資源】 ※括弧内は件数

〈人〉

子どもの通学時などの見守り隊やパトロール (25) / 声を掛け合える近所付き合い (18)

〈もの〉

古墳やそれに付随する自然 (29) / 寺社 (葛井寺・辛國神社) (26) / アイセル シュラ ホール

〈こと〉

老若男女が参加して交流できるお祭り (だんじり祭り等) (29) / 清掃・美化活動 (9)

#### 【ウ-6：地域で「気持ちが良い」「ほっとする」ような場所】 ※括弧内は件数

- ・葛井寺 (35)
- ・辛國神社とその境内地 (33)
- ・アイセル シュラ ホール (19)
- ・仲哀天皇陵古墳 (8)
- ・ブクンダ公園 (8) 等

## 2 地域の課題

### ①人々が訪れ賑わう拠点として藤井寺駅南側の魅力向上が必要です

- 藤井寺駅周辺は本市の玄関口でもあり、駅南側は通勤・通学の他、葛井寺などを目的として本市を訪れる観光客も含めて、人が集い交流する場所として重要です。
- 現在、藤井寺駅北側で大規模商業施設の建て替えが進んでいますが、オープンとともに人の流れが駅北側に偏り、南側の商店街などでは活気が失われることも懸念されます。
- 駅南側の商店等が集積する魅力を一層高めることで、駅北側と差別化しながらも一体的な拠点形成を進めていくことが必要です。
- また、自動車や路線バス、タクシーが錯綜し、横断等が危険な状態であるなど、交通結節機能に課題を抱えており、対応が必要です。

### ②暮らしの拠点としてアイセル シュラ ホール付近の活用が必要です

- 本地域には生涯学習の拠点としてのアイセル シュラ ホールが立地しており、多くの市民が利用しています。
- この施設をもっと子ども達を含む多世代に利用しやすい施設として、周辺のため池・公園といった環境を活かすとともに、学校等とも連携して地域の暮らしの質を高める拠点として活用できるような方策を検討することが必要です。

### ③安全・安心・快適な道路空間の形成が必要です

- 古くからの住宅地内は狭あい道路も多く、また通過交通も多いため歩行者の安全確保が重要な問題となっています。特に、学校付近の通学路についてはその対応が急務です。
- また、災害時においては緊急車両が通行できない箇所なども多く、防災面からも対応が必要です。
- 一方、一人ひとりが交通安全や防災対応を意識することで解決できることも少なくありません。
- そのため、ハード面とソフト面を組み合わせながら安全・安心・快適な道路空間の形成に取り組むことが必要です。

### ④良好な住宅地の環境保全に取り組むことが必要です

- 近年、計画的に整備され敷地規模の大きい住宅地における敷地の細分化などが進行し、かつての緑豊かな住環境が失われつつあります。
- 住宅地の豊かな緑は、まち全体の質的向上にも大きく寄与することから、良好な住宅地の環境保全に取り組むことが必要です。

### ⑤地域の歴史文化資産を活かしたまちづくりが必要です

- 春日丘など本市の住宅都市として位置づけを高めてきた歴史的な住宅地、また葛井寺、辛國神社など歴史的風情を感じさせる歴史文化資産や数多くの古墳群など、本地域は暮らしの中に歴史・文化を身近に感じることができるにも関わらず、そのポテンシャルを十分に発揮できていません。
- そのため、地域の歴史文化資産を活かしたまちづくりに積極的に取り組むことが必要です。



### ⑥ 子ども等が集い遊べる公園等のさらなる利活用が必要です

- 地域内に公園が点在するほか、小学校での校庭開放等に取り組んでいるものの、利用者ニーズを十分に満足していません。
- 地域には駅前エリアで利用の多いブクンダ公園や、住民と市、事業者が協働して整備に取り組んださくら公園が位置しており、安心して遊べる環境整備や、子どもたちが遊べる場所、子育て世帯が交流できる場所としての利活用が求められます。

## 3 まちづくりの将来像

### 歴史・文化が育む、活力ある住宅学園都市のまち

南西地域には、葛井寺や辛國神社、仲哀天皇陵古墳、鉢塚古墳、仁賢天皇陵古墳など歴史文化資産が点在しています。また、花苑都市・藤井寺経営地に代表されるような、ゆとりと品格のある良好な住宅地が形成されたことで、本市の都市“格”の向上やシビック・プライド※の醸成に寄与してきました。

また、藤井寺球場跡地に立地した四天王寺学園など、学園都市とも呼べる教育環境が整っていることも、良好な住宅地の一端を担っていると言えます。

さらに、アイセル シュラ ホールは生涯学習の拠点として多くの市民が集う場所となっており、その周辺にはため池、学校や公園などが位置し、日常的に市民が集うことができる拠点ともいえる場所です。

このような本地域が抱える多様な歴史文化資産や教育環境を活かすことで、活力ある住宅学園都市のまちをめざします。

※シビック・プライド：都市に対する市民の誇りや愛着のこと。

## 4 まちづくりの方針

### ① 藤井寺駅南の魅力をもつまちづくり

- 葛井寺や辛國神社など駅南の主要な歴史文化資産の価値や存在感を高めるまちづくりを進めます。
- 交通広場の整備をはじめとする、本市の玄関口にふさわしい駅前空間の環境整備を検討します。
- あわせて、市民や商業者による歴史文化資産等を活かしたまちづくりを展開します。

行政主体	協働	市民主体
<ul style="list-style-type: none"><li>府と連携して交通広場や道路の整備等を検討し、交通が錯綜する状況の改善に取り組みます。</li><li>葛井寺の参道について、景観に配慮した道路整備等を進めます。</li><li>ブクダ公園を含めた駅南側の一体的な空間の活用を検討します。</li><li>商店街やまちづくり協議会など地域の主体的な活動、取り組みを積極的に支援します。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>葛井寺や辛國神社周辺の古民家等を活かした拠点整備のあり方などについて検討します。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>市民主体の取り組み(ハロウィン、手づくり市等)を面に広げ回遊性を高めるなど、より効果的に展開しましょう。</li><li>空き店舗や空き地の有効活用を検討しましょう。</li></ul>

### ② アイセル シュラ ホール付近を拠点とした暮らしの魅力をもつまちづくり

- アイセル シュラ ホール付近や藤井寺南小学校、さくら公園などを核にした、子どもや住民が集まる、地域の魅力をもつ空間づくりを進めます。

行政主体	協働	市民主体
<ul style="list-style-type: none"><li>施設の有効活用方策を検討します。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>アイセル シュラ ホール周辺の活用方策などについて市民と話し合うワークショップの開催などを検討します。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>アイセル シュラ ホールを積極的に利用しましょう。</li></ul>





## ③安全・安心な道路環境づくり

- 通学路の安全対策、通過交通の抑制などに資する道路環境整備を進めます。
- 歩行者や自転車の通行環境の整備を進めます。

行政主体	協働	市民主体
<ul style="list-style-type: none"> <li>• (都) 藤井寺羽曳野線の交差点部の改良等を要望します。</li> <li>• 通学路や通行における危険箇所については、カーブミラーや街路灯の設置、道路改良などによる安全対策に取り組みます。</li> <li>• 災害時の避難や緊急車両の通行確保のため、主たる生活道路における狭あい部分の解消に取り組みます。</li> <li>• 古墳の回遊ルートと連携した安全で快適な歩行者空間の整備に取り組みます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 地域内の危険箇所についての点検や意見交換を行います。</li> <li>• 通過交通に対する対策について地域住民と協議し進めます。</li> <li>• 道路整備に係る住民との対話・協議の場を設け、道路整備プロセスの透明化を図ります。</li> <li>• 交通安全、防災、災害応急対策の観点から、狭あい道路の解消に向け地域とともに取り組みます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 交通ルールの遵守や意識啓発に取り組みましょう。</li> <li>• 道路の危険箇所を共有するマップ等を作成しましょう。</li> </ul>

## ④良好な住環境を守り、育てるまちづくり

- 春日丘や藤ヶ丘など良好な戸建て住宅地等の環境を守り、育てるまちづくりを進めます。

行政主体	協働	市民主体
<ul style="list-style-type: none"> <li>• 良好な住環境の維持・保全のための地域主体のルールづくり(敷地の細分化を防ぐ/緑の保全等)に対する支援を検討します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 良好な住宅地の保全に向けた学習等に協働で取り組みます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 良好な住環境の維持・保全のための地域主体のルールづくり(地区計画など)を検討しましょう。</li> </ul>

### ⑤歴史・文化を活かした誇りを育むまちづくり

- 歴史・文化を意識したまちなみ整備等を進めます。
- 仲哀天皇陵古墳から仁賢天皇陵古墳と連なる古墳群と一体となった周辺の実環境整備等を進めます。

行政主体	協働	市民主体
<ul style="list-style-type: none"> <li>• 古墳周辺の歴史・文化に配慮した都市づくりを進めます。</li> <li>• 駅から葛井寺、古墳へと回遊できるルートを設定し、カラー舗装やサイン整備等を検討します。</li> <li>• 回遊ルート整備とあわせて通学路の安全性の向上を検討します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 観光ボランティア等と行政と一緒に、歴史文化遺産をめぐるルートや、歴史文化資産の活用についてPRを行います。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 地域主体の古墳の保全や管理、活用のあり方について検討しましょう。</li> <li>• 住民一人ひとりが身近な歴史・文化の存在を意識するように心がけましょう。</li> </ul>

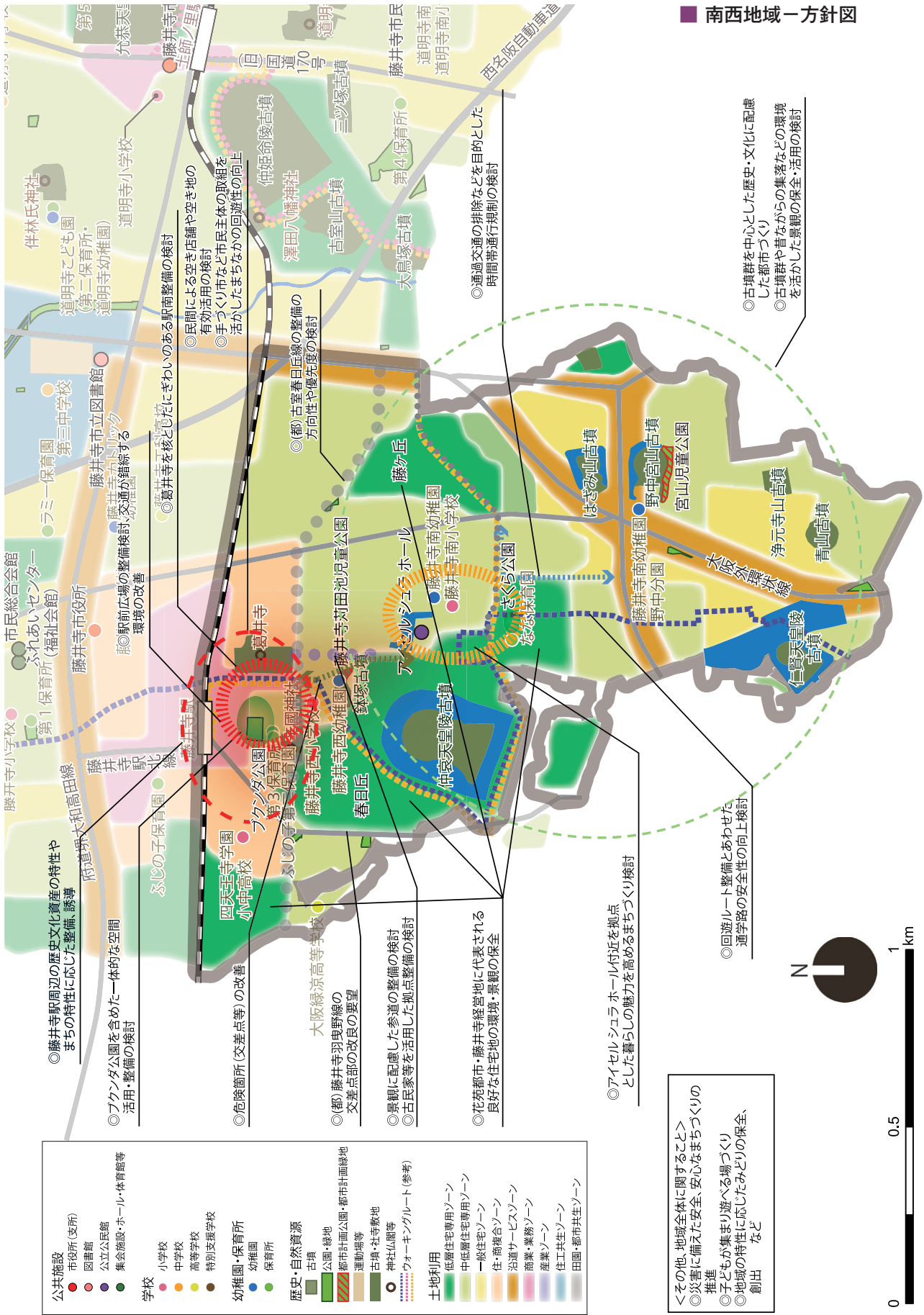
### ⑥公園やオープンスペース等を活用した子どもが安心して元気に遊べるまちづくり

- 既存の公園について、子どもらが集まり安心して元気に遊べる場所となるようにさらなる利活用を検討します。
- あわせて、住民が身近な公園等の使い方について話し合いながら、積極的に活用していくための取り組みを協働で進めます。

行政主体	協働	市民主体
<ul style="list-style-type: none"> <li>• 公園だけでなく子どもが安全に遊ぶことができる場所づくりに取り組みます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 公園などを住民と行政で協働しながら魅力的な場所として活用できる方法を検討します。</li> <li>• 公園以外のオープンスペースの利用方法を検討します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 身近な公園等の活用、清掃・美化活動に取り組みましょう。</li> <li>• 子どもたちが安心して遊べるように大人による見守りなど地域でのサポート体制を検討しましょう。</li> </ul>



### ■ 南西地域一方針図



＜その他、地域全体に関すること＞  
 ◎災害に備えた安全、安心なまちづくりの推進  
 ◎子どもが集まり遊べる場づくり  
 ◎地域の特性に応じたみどりの保全、創出 など

◎アイセルシユラ ホール付近を拠点とした暮らしの魅力を高めるまちづくり検討

◎回遊ルート整備とあわせた通学路の安全性の向上検討

◎通過交通の排除などを目的とした時間帯通行規制の検討

◎古墳群を中心とした歴史・文化に配慮した都市づくり  
 ◎古墳群や言なからの集落などの環境を活かした景観の保全・活用の検討

◎藤井寺駅周辺の歴史文化遺産の特性やまちの特性に応じた整備、誘導  
 ◎ブクンダ公園を含めた一体的な空間活用・整備の検討  
 ◎危険箇所(交差点等)の改善  
 ◎四天王寺学園小中高等学校  
 ◎ふじの子保育園  
 ◎藤井寺市役所  
 ◎駅前広場の整備検討、交通が滞りやすくなる環境の改善  
 ◎市民総合会館  
 ◎ふれあいセンター(福祉会館)  
 ◎第1保育園(福祉会館)  
 ◎藤井寺市立図書館  
 ◎ファミリー保育園  
 ◎ラミー保育園  
 ◎第三中学校  
 ◎道明寺こども園(第二保育園・道明寺幼稚園)  
 ◎伴林氏神社  
 ◎道明寺小学校  
 ◎藤井寺市立図書館  
 ◎藤井寺市立図書館  
 ◎藤井寺市立図書館

- 公共施設**
  - 市役所(支所)
  - 図書館
  - 公立公民館
  - 集合施設・ホール・体育館等
- 学校**
  - 小学校
  - 中学校
  - 高等学校
  - 特別支援学校
- 幼稚園・保育所**
  - 幼稚園
  - 保育所
- 歴史・自然資源**
  - 古墳
  - 公園・緑地
  - 都市計画公園・都市計画緑地
  - 運動場等
  - 古墳・社寺敷地
  - 神社仏閣等
  - ウォーキングルート(参考)
- 土地利用**
  - 低層住宅専用ゾーン
  - 中低層住宅専用ゾーン
  - 一般住宅ゾーン
  - 住・商業ゾーン
  - 沿道サービスゾーン
  - 商業・業務ゾーン
  - 産業ゾーン
  - 住共生ゾーン
  - 田園・都市共生ゾーン

## 4. 南東地域

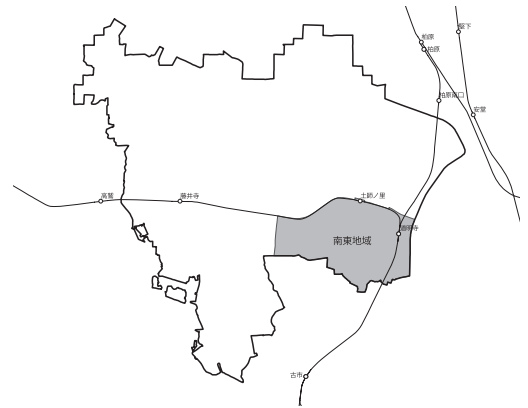
### 1 地域の概況

南東地域は、南北を(都)堺大和高田線(府道堺大和高田線)、羽曳野市、東西を石川、(都)柏原羽曳野線(国道170号(大阪外環状線))に囲まれている地域です。

道明寺駅周辺には道明寺、道明寺天満宮が位置し、古くから発展してきた経緯があります。駅前には商店街が形成されており、近くには市立藤井寺市民病院が立地しています。

東は石川河川公園に面し、大坂夏の陣 道明寺合戦まじりの舞台としても活用されるなど、貴重なオープンスペースとなっています。

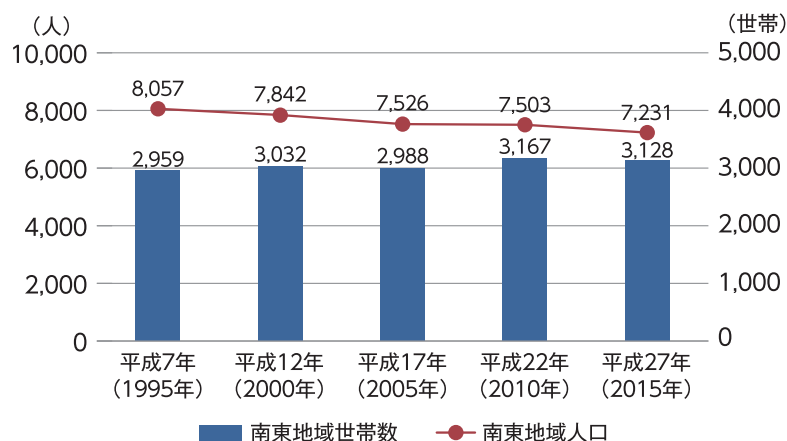
コンパクトなまちの中に仲姫命陵古墳、古室山古墳、大鳥塚古墳などが連なって存在しており、特に古室山古墳は住民にとっての憩いの場となっています。道明寺、道明寺天満宮、澤田八幡神社などの寺社も存在します。



### ①人口・世帯数の推移

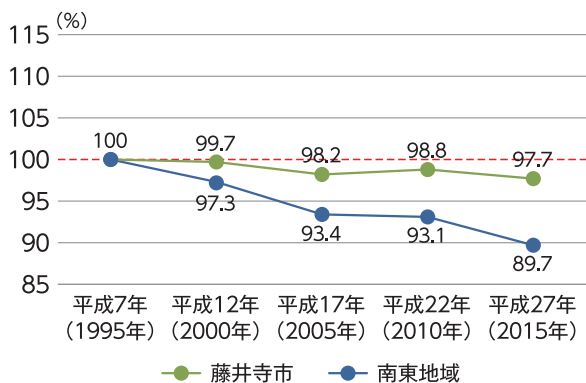
- 人口は平成7(1995)年以降一貫して減少を続けています。世帯数も平成22(2010)年までは増加傾向でしたが、平成27(2015)年は減少しています。
- 全市平均に比べ、南東地域においては人口の減少が顕著になっています。
- 年齢別の人口構成については、全市に比べ、65歳以上の人口割合が高く、15歳未満の人口割合が低くなっています。

■ 人口・世帯数の推移



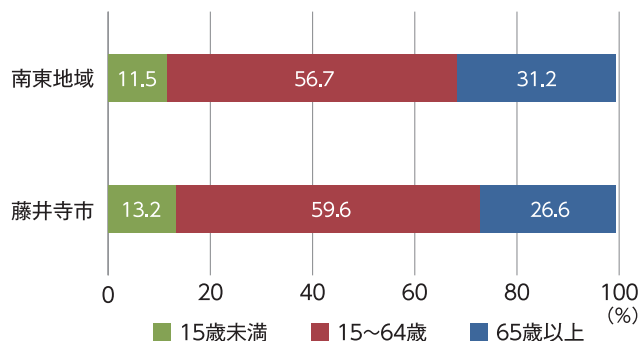
出典：国勢調査

### ■ 人口の推移 (全市との比較)



出典：国勢調査

### ■ 人口構成 (平成27 (2015) 年)



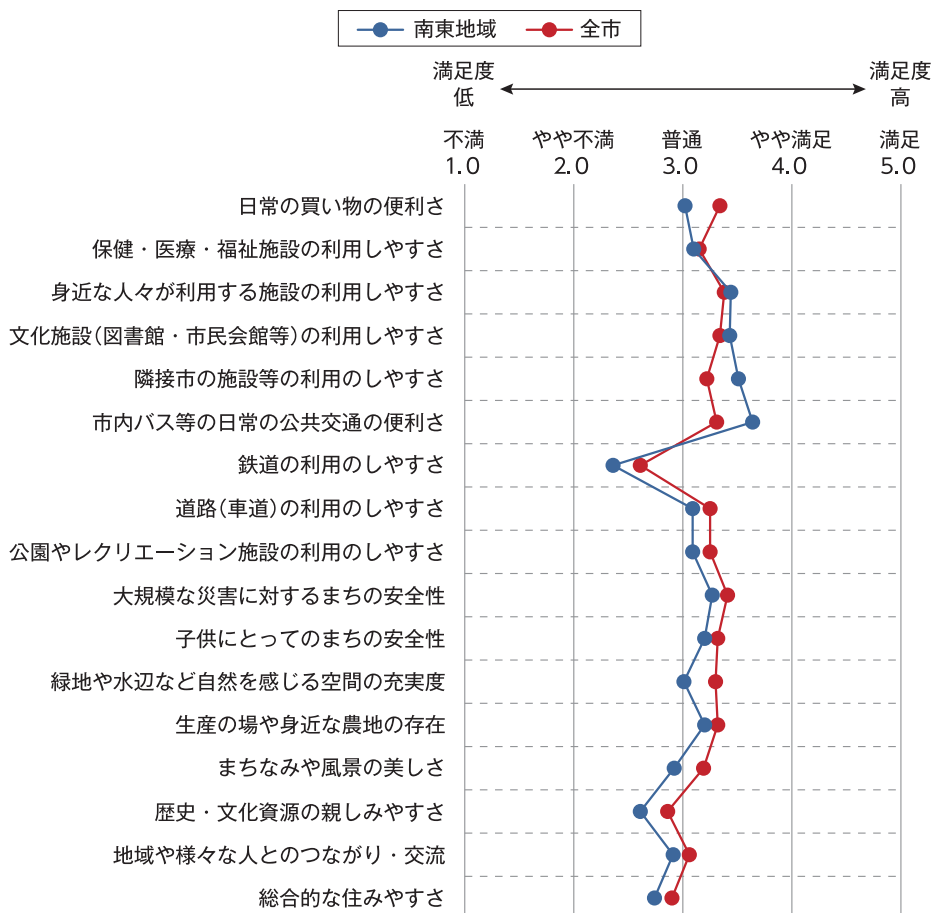
出典：国勢調査

注：年齢不詳を省いているため合計は100%にならない

## ② 市民アンケート調査の結果

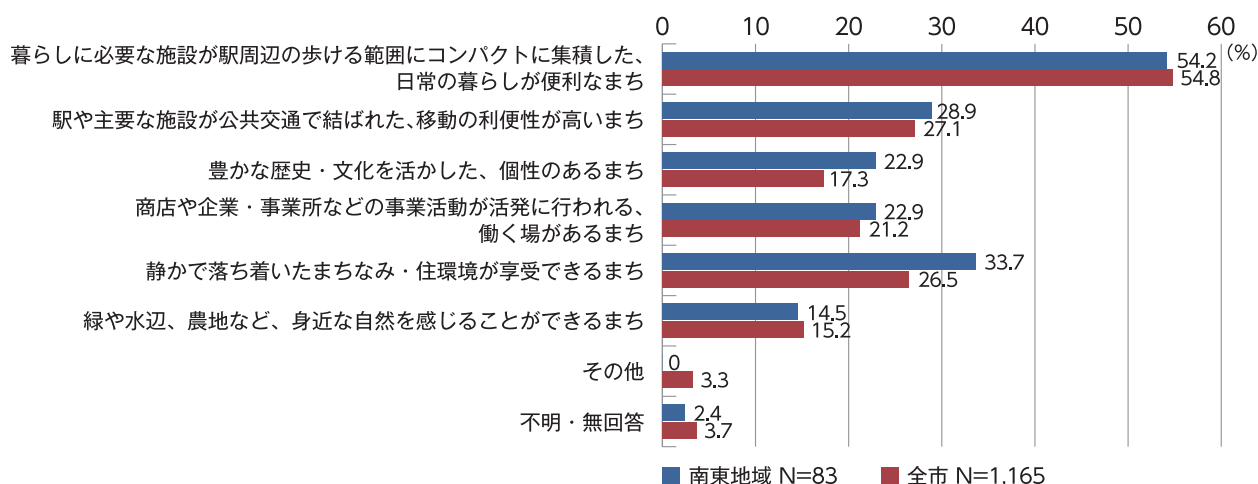
### ㊦ まちの暮らしの満足度

- ・南東地域は公共施設の利用などに関して満足度が高くなっていますが、安全性・まちなみ・人とのつながりへの満足度、総合的な住みやすさは全市平均より低くなっています。



## ① 概ね10年後をイメージした将来の姿

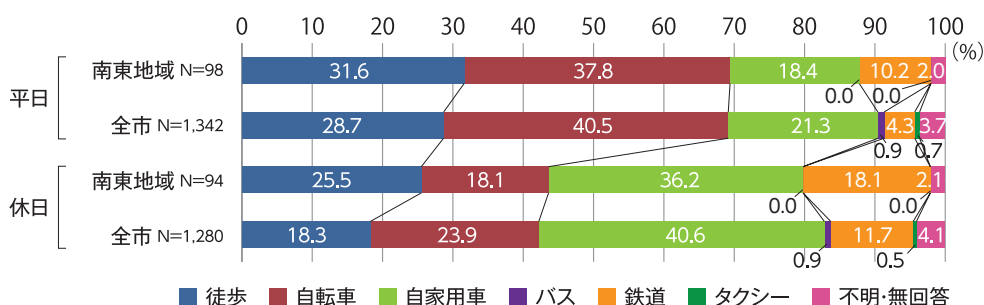
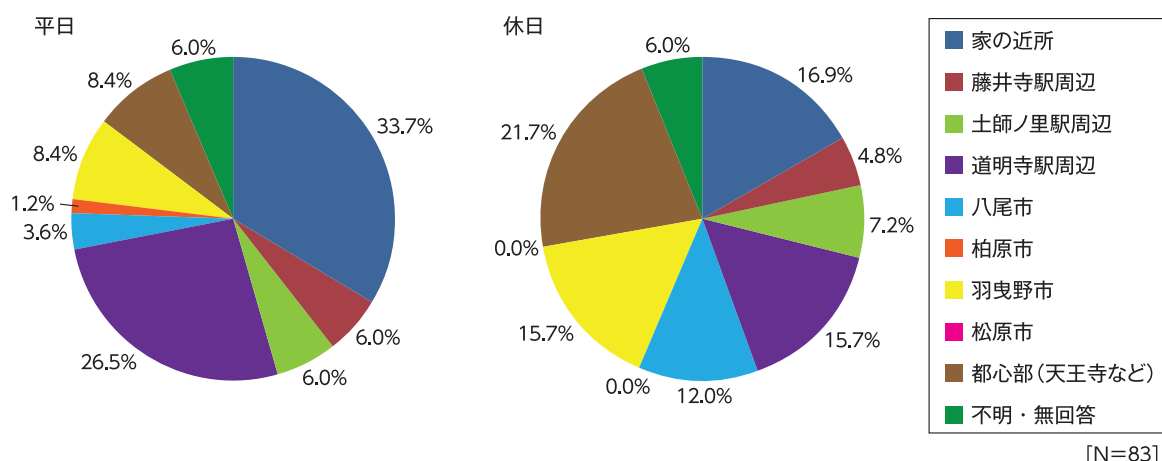
- 全市と同様に日常の暮らしの便利さを挙げる人が最も多くなっていますが、その割合は小さく、静かで落ち着いたまちを挙げる人の割合が全市の中で最も大きくなっています。



## ② 地域でのふだんの暮らしの様子

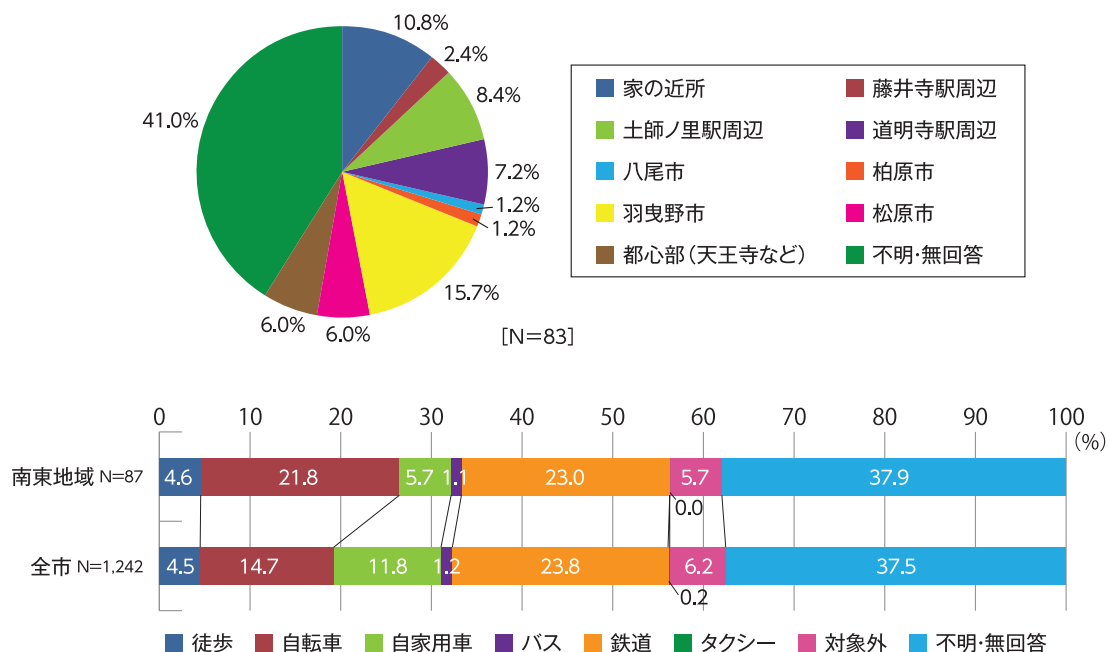
### 【ウ-1：買い物の利用場所、交通手段】

- 平日は徒歩 (31.6%) や自転車 (37.8%)、自家用車 (18.4%) で家の近辺 (33.7%) や道明寺駅周辺 (26.5%) への買い物に行く人が多く、休日は徒歩 (25.5%) や自転車 (18.1%) のみならず自家用車 (36.2%) や鉄道 (18.1%) を利用して天王寺などの都心部 (21.7%) や八尾市 (12.0%) まで買い物に行く人が増えます。
- 全市平均と比べると徒歩で移動する割合が大きくなっています。



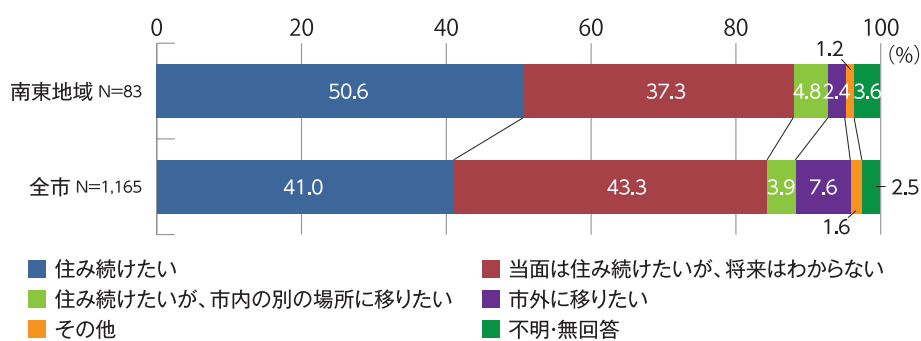
## 【ウ-2：通勤通学の場所、交通手段】

- 通勤通学は全市と同様に、家の近所(10.8%)や羽曳野市(15.7%)が多くなっており、交通手段としては自転車(21.8%)と鉄道(23.0%)を利用する人が多く、自転車利用の割合は全市の中で最も大きくなっています。



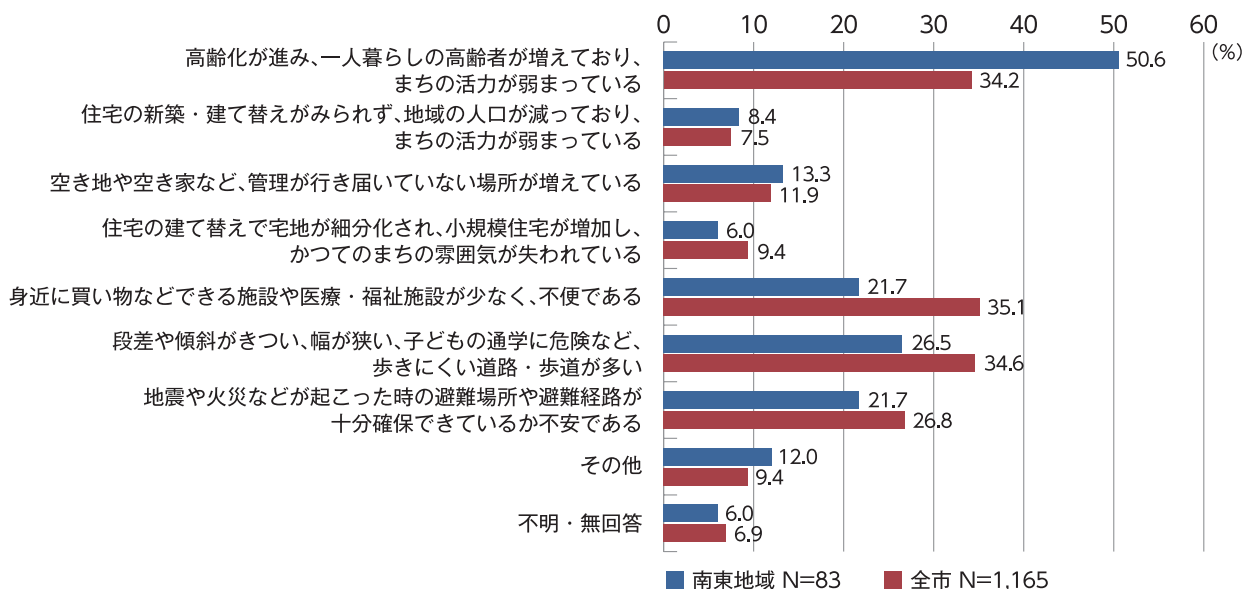
## 【ウ-3：地域の定住意向】

- 住み続けたいと答えた人の割合が全市の中で最も大きく、50.6%となっています。しかし市内の別の場所に住みたい人の割合も最も大きくなっています。



#### 【ウ-4：身近な住環境で生じている課題】

- 高齢化、一人暮らしの高齢者の増加によるまちの活力の弱まりを挙げた人が最も多く、過半数(50.6%)の人が課題としています。他の地域と比較してもその割合は大きくなっています。
- 全市で多くなっている買い物できる施設や医療・福祉施設の少なさや段差や傾斜のきつさ、道路幅の狭さなどによる道路や歩道の歩きにくさは他の地域と比べて低くなっています。



#### 【ウ-5：まちづくりに活かしていきたい資源】 ※括弧内は件数

〈人〉

見守り運動(11) / 近所付き合い(5) / まちの人みんながみまもっている安心感

〈もの〉

寺社(道明寺、道明寺天満宮など)(16) / 古墳とその自然(15)

〈こと〉

祭り(だんじり・秋祭り)(8) / 子ども会などのイベント 等

#### 【ウ-6：地域で「気持ちが良い」「ほっとする」ような場所】 ※括弧内は件数

- 石川(土手・堤防・河川敷公園)(28)
- 道明寺天満宮(35)
- 古室山古墳(9) 等





## 2 地域の課題

### ① 駅前の魅力向上が必要です

- ・道明寺駅は本市東部の玄関口であり、交通の結節点としてだけでなく、観光客をもてなす空間として重要であり、歴史的な印象を感じることのできる“おもてなし”の空間としての魅力を高めていくことが必要です。
- ・土師ノ里駅周辺については、近年リニューアルがなされ、古墳などにつながる観光の玄関口として改善が進められていますが、さらなる充実が期待されます。

### ② 商店街をより魅力的にしていけることが必要です

- ・道明寺駅前の商店街は、地域の生活を支える商業機能の集積としてのみならず、観光客を道明寺、道明寺天満宮等へと導く重要なエリアとなっています。現在は、にぎわいや交流が見られますが、将来的な衰退が心配されます。
- ・また、観光上の主要な動線となっている商店街ですが、現状では観光客が休憩や買い物をする機会は乏しく、立ち止まってもらうためのしかけづくりが必要です。
- ・今後、地域の住民と観光客によるにぎわいや交流が促進されるよう、商店街や協議会を中心に多様な主体が連携することで、より魅力的な商店街づくりが必要です。

### ③ 地域全体で歴史・文化を感じられるような取り組みが必要です

- ・古墳、道明寺、道明寺天満宮などの資産が多数見られ、古代からの重層的な歴史が当地区の特徴といえます。しかし、住宅の建て替えや改修などにより、歴史的な深みを感じられる要素が無くなりつつあります。
- ・南東地区らしさを高めるために、地区全体で景観形成や資産の保全・活用など、歴史を感じられるまちづくりを進めていく必要があります。
- ・また、地区の歴史性を内外に積極的に発信していくことも必要です。

### ④ 狭あい道路や危険箇所への対応が必要です

- ・古くから形成された市街地であるがゆえに、狭あいな道路も多く存在し、親しみある空間として地域の魅力となっている一方、自動車と歩行者の共存については課題を抱えています。
- ・特に、道明寺南小学校付近の通学路の通過交通や、踏切による渋滞、歩きにくい歩道などが指摘されており、狭あい道路や通行に危険な箇所等についての改善を検討する必要があります。

### ⑤ 石川や古墳から連なるみどりや自然を楽しめるまちづくりが必要です

- ・本市の貴重なオープンスペースである石川河川公園に加え、一連の古墳群、さらには道明寺天満宮周辺の樹木が地域の自然豊かな印象を高めています。それらをさらに歩いて楽しめる、地域の魅力として発信していくための取り組みが求められています。

### 3 まちづくりの将来像

#### 重層的な歴史と商店街、みどり・水空間で “おもてなし”と“住みよい”が両立したまち

南東地域は、仲姫命陵古墳を中心とした連なりのある古墳群、道明寺や道明寺天満宮を中心とした門前のまちと商店街のにぎわい、さらには石川・大水川といった親水空間など、コンパクトな地域の中に重層的な歴史とうるおいある空間が詰まったまちです。

これらの重層的な歴史を地域全体に広げ、来訪者にも歩いて楽しんでもらえるまちづくりと、これらに加えてみどりや水空間を活用しながら住民の暮らしやすさや愛着を高めるまちづくり、これらの共存が重要であり、歴史を中心とした観光・景観整備による「おもてなし」と、みどり・住環境による「住みよい」が両立したまちをめざします。

加えて、こうしたまちを支える都市基盤として、通過交通の改善等に取り組み、地域の安全・安心な道路環境づくりを進めます。



## 4 まちづくりの方針

### ① 歴史を感じられる駅前空間のまちづくり

- 市、地域、鉄道事業者等が連携し、歴史文化資産を巡る玄関口としてふさわしい駅前空間づくりを進めます。

行政主体	協働	市民主体
<ul style="list-style-type: none"> <li>駅周辺の都市整備のあり方を府と検討します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>市、地域、鉄道事業者等が歴史を感じられる空間づくりについて話し合うための場づくりを検討します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>駅前空間づくりについて市民や地域団体主体で検討し、市に提案しましょう。</li> </ul>

### ② もてなしのある魅力的な商店街のまちづくり

- 商店街が主体となって、ゆっくりできる環境づくりや立ち寄りたくなるしかけづくりなど、来訪者をもてなす魅力的な商店街づくりを進めます。

行政主体	協働	市民主体
<ul style="list-style-type: none"> <li>商店街やまちづくり協議会など地域の主体的な活動、取り組みを積極的に支援します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>商店街と行政が協力したイベント等に取り組みます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>来訪者を意識した休憩場所の確保や、空き店舗の活用など、商店街での取り組みを検討し、実践しましょう。</li> <li>まちづくり協議会や商店主同士が連携してもてなしの商店街づくりに取り組みましょう。</li> </ul>

### ③ 重層的な歴史を感じられるまちづくり

- 古墳や寺社、一部残る古いまちなみなどの豊富な歴史文化資産を活かし、古代から大坂の陣までの重層的な歴史が訪れて体感できるようなまちづくりを進めます。

行政主体	協働	市民主体
<ul style="list-style-type: none"> <li>古墳周辺の歴史・文化に配慮した都市づくりを進めます。</li> <li>街道の魅力向上させるための整備の方向性等を検討します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>観光客の受け入れ対応について検討します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>住民一人ひとりが身近な歴史・文化の存在を意識するように心がけましょう。</li> <li>歴史に精通した地域の人材を発掘し、観光まちづくりに活かしましょう。</li> <li>新築や建て替えの際などにも歴史・文化を意識しましょう。</li> </ul>

#### ④安全・快適に歩けるまちづくり

- 地区内の主要な道路において、通過交通の抑制や道路の危険箇所の改善などによる安全・快適な道路環境づくりを進めます。

行政主体	協働	市民主体
<ul style="list-style-type: none"> <li>• 通学路や通行における危険箇所については、カーブミラーや街路灯の設置、道路改良などによる安全対策に取り組みます。</li> <li>• 災害時の避難や緊急車両の通行確保のため、主たる生活道路における狭あい部分の解消に取り組みます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 地域内の危険箇所についての点検や意見交換を行います。</li> <li>• 通過交通に対する対策について地域住民と協議を進めます。</li> <li>• 道路整備に係る住民との対話・協議の場を設け、道路整備プロセスの透明化を図ります。</li> <li>• 交通安全、防災、災害応急対策の観点から、狭あい道路の解消に向け地域とともに取り組みます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 交通ルールの遵守や意識啓発に取り組みましょう。</li> <li>• 道路の危険箇所を共有するマップ等を作成しましょう。</li> </ul>

#### ⑤みどり・自然を活かすうるおいの感じられるまちづくり

- 石川・大水川、古墳などがもたらすみどり・自然環境を活かし、うるおいの感じられるまちづくりを進めます。

行政主体	協働	市民主体
<ul style="list-style-type: none"> <li>• 古墳が利用しやすいような整備を検討します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 公園以外のオープンスペースの利用方法を検討します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 古墳や社寺の清掃活動、軒下の花植えなどに地域で取り組みましょう。</li> <li>• 河川空間を活用したイベント等に取り組みましょう。</li> </ul>

### ■ 南東地域一方針図

